

【ディプロマポリシー】(学位授与の方針)

情報学科では、建学の精神と教育の目的に即して、「高い責任感と倫理観」、「最新の情報技術を修得し活用する能力」、「課題解決能力とマネジメント力」、「国際性」を備えた技術者・研究者を育成することを教育の目標としており、具体的に明示された評価方法に基づき、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。これらの趣旨のもとに開講された科目を履修して、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与します。卒業までに身につけておくべき資質・能力を、以下に示します。

1. 関心・意欲・態度

自らの望むキャリアの実現に向けて、そこで必要とされる知識・技能が何かを理解し、それらを計画的に身につけ、自らの知識・技能を継続して向上させていくことができること。

2. 思考・判断

- 1) 自然環境と社会環境に対して深く配慮し、すべてのものを豊かにするために最適な意思決定を行えること。
- 2) 現代社会における情報システムの役割とその影響の地球規模の広がりを認識し、技術者としてその役割と責任を全うできること。

3. 技能・表現

- 1) 自らの考えをまとめ、口頭、文書、図表を用いて的確に表現し伝えられること。
- 2) 国際的に通用する基本的なコミュニケーション能力を身につけていること。
- 3) 他者と共同・協調して問題の整理や解決にあたることができること。

4. 知識・理解

- 1) 問題解決のために必要な理論や数学及び自然科学に関する知識とその応用能力をもつこと。
- 2) 情報システム構築のための基盤となる技術を利用することができること。
- 3) 情報システム開発の対象となる業務プロセスとビジネスモデルを理解するために必要な基盤となる概念と知識をもつこと。
- 4) 利用者の要請や種々の制約条件を考慮に入れ、実現可能な解決策を提案し、情報システムの構築及び運用管理を行うことができること。
- 5) 情報メディア及びその利用者である人間の特性を理解し、メディア情報処理の理論と手法を体系的に理解すること。
- 6) 情報メディアの技術動向を理解し、時代のニーズを捉えたマルチメディアシステムを開発できること。

【ナンバリング付番ルール】

《総合科目・外国語科目》

- <百の位> 1
 <十の位> 開講年次を記入 開講年次 1~4 の場合、1番低いものに合致す。 ※1~4:1, 2~4:2
 <一の位> 人間性・社会性科目群: 1 地域性・国際性科目群: 2 課題設定・問題解決科目群: 3 表現・スポーツ・健康活動科目群: 4 専門基礎・自然科学科目群 5 「~Ⅰ」:6 「~Ⅱ」:7 外国語共通(海外語学研修):8

《専門科目》

- <百の位> 1年生専門:2 2年生専門:3 3年生専門:4 卒研・卒研ゼミ:5
 <十の位> 開講年次 開講年次1~4 の場合、1番低いものに合致す。 ※1~4:1, 2~4:2
 <一の位> 前期必修科目:1 前期選択科目:2 後期必修科目:3 後期選択科目:4

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング				
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	哲学	1~3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自律の力を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 授業で紹介された哲学者の基本的な立場を理解できる。 2. その考え方に対する自分の意見を述べることができる。 3. 毎時間ごとに示されるキーワードをよりどころとして、自分は周囲の環境や人々そして自分自身をどのようにとらえているのかを再確認できる。		◎												1	1	1	111
総合科目	心理学	1~3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】心理学がとらえてきた「心」の仕組みや働きを理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 講義の中でとりあげた基礎概念を、実例を用いて説明する。 2. 日常の事象をこれらの基礎概念の実例として紹介する。		◎												1	1	1	111
総合科目	日本国憲法	1~3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】憲法の根底にある基本原理を理解することを通じて、人権感覚を練磨し、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を得ることができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 憲法に関する基礎的知識、概念を修得する。 2. 統治機構の運営上生じる憲法問題を正確に理解できる。 3. 重要な憲法裁判例の事実関係およびそこにおける憲法上の争点を把握したうえで、国家行為の合憲性について推論し、結論に至るまでの論理を説明できる。		◎												1	1	1	111
総合科目	人権論	1~3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】人権保障の根底にある価値理念を理解することを通じて、人権感覚、規範意識を獲得・練磨することができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 人権保障に関する基礎的知識・概念、法理論、人権保障の根底にある価値理念を理解できる。 2. 実社会において生起する人権問題の内容・背景を正確に理解できる。 3. 人権保障の根底にある価値理念が個別具体的事案においてどのように実現されているか、または実現されるべきかを、対立する諸見解をふまえて説明できる。		◎												1	1	1	111

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング						
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計			
総合科目	経済学	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】基本的な経済学の思考法を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 経済学の基本は身近にあることを認識する。 2. ミクロ経済的な思考法を修得する。 3. 資産選択における判断基準および評価を身に付ける。		◎													1	2	1	121	
総合科目	政治基礎論	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】日本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解することを通じて、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を得ることができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 日本国憲法とわが国の統治構造に関する基礎的知識・概念を理解できる。 2. わが国の統治構造の根底にある基本原理を理解し、この原理が具体的な統治構造にどのように反映されているかを把握できる。 3. 政治運営のなかで生じる憲法問題の内容・背景について、実例をあげつつ説明できる。		◎													1	1	1	111	
総合科目	教養特殊講義A	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 【到達目標】 令和4年度不開講のためシラバスなし		◎													1	2	1	121	
総合科目	ことばと文化(ドイツ語と文化)	2～3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】ドイツ事情,様々な文化を学びドイツという国を知ることを通して、異文化理解を深める。ド 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. ドイツの様々な文化について知識を深め,関心を高める。 2. 文化に関するドイツ語テキストを読むことによりドイツ語の読解力が向上する。		◎													1	2	2	122	
総合科目	ことばと文化(フランス語と文化)	2～3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的なコミュニケーション能力を身につけるため語学だけでなくそれを入り口とした文化的背景を知る。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 辞書を用いて、平易なフランス語文を理解できる。 2. フランスおよびヨーロッパの文化、社会に対する知識を深める。		◎													1	2	2	122	
総合科目	ことばと文化(中国語と文化)	2～3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】中国文化に対する理解を深め、基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. テキストの中国語文を正しい発音で読むことができる。 2. 習った文型で簡単な文を作ることができる。 3. 中国語を日本語に、日本語を中国語に正しく翻訳することができる。 4. 簡単な会話ができるようになる。 5. 言葉の勉強とともに、中国文化への理解を深める。 6. 「中国語検定試験」(準4級)レベルの能力が身に付く。		◎														1	2	2	122
総合科目	日本語の技法	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を身につけるとともに、レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を身につけることを目標とする。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。 2. レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養う。 3. 自分の日本語表現力を各テストにて自覚し、論理的な文章を書くために基礎的な事柄を学習していく。		◎														1	1	2	112
総合科目	人間と文化	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】主に時事問題を題材にして、読解力を高め、関連する知識を増やし、考察し、自分の意見が発表できることを目標とする。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 現代社会における注目の時事問題に関する知識を得る。 2. 文章表現、構造を学び、大学生にふさわしい読解力を身に付ける。 3. 付加情報について収集し、考察し、大学生にふさわしい自分の感想、意見をもち発表できる。		◎														1	1	2	112
総合科目	東広島学	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】各講演を聴講することにより、東広島市の歴史・文化・伝統、行政、産業などに関して学ぶとともに、里山保全活動・観光ボランティアガイド体験などのフィールドワークを通じて、地域の公共性や人間尊重を理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 東広島市に関する基礎的な知識を修得することができる。 2. 与えられたテーマに対して、講演や自身の調査の内容を反映し、適切なレポートを作成することができる。 3. 自分の意見を述べたり、他者の様々な意見を聞いたりなど、グループで議論するコミュニケーション能力を身につけることができる。		◎														1	1	2	112

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング											
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計								
総合科目	国際経営論	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 【到達目標】 令和4年度不開講のためシラバスなし																1	2	2	122					
総合科目	グローバルキャリア論	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】グローバルに対応できる職業人の基礎的素養としての各種スキルを向上させるとともに、グローバルな人的交流・協力の意義や、グローバルな視点からの技術経営、技術戦略等について理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. グローバルに活躍できる職業人として身につけるべき各種スキルをあげ、それらについて自ら評価し、不足するスキルを高めようとする。 2. グローバルな人的交流・協力の意義を自らの言葉で述べる。 3. グローバルな視点からの技術経営、技術戦略等について具体例をあげる。		◎																1	2	2	122			
総合科目	教養特殊講義B	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 生物学と野外調査法に関する講義、野外における生物の採集、分類、同定、生息環境調査(現場での各種要因計測や室内での化学分析等)を通じ、野外環境における生物群集の実像を理解する。また、野外調査に関する一連の作業(調査の計画、野外での試料・データ採集、室内での試料処理や分析、データの取りまとめ、発表)を経験することで、野外調査に関する正しい知識や技術を身につける		◎																	1	2	2	122		
総合科目	キャリアデザイン	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】望ましい職業観を身につけるとともに、適切な進路選択を自律・自立的に行う能力を伸長する 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 自らの特性を理解し、それを進路に適切に関係づける。 2. 進路についての情報を主体的に探索する。 3. 自らの進路を自律・自立的に計画し決定しようとする姿勢・態度をもつ		◎																	1	1	3	113		
総合科目	職業の理解	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】望ましい職業観を育成し、適切な進路選択を自律的に行う能力の伸長をはかる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 企業経営の仕組みを学び、多様な業界・職業と職務内容を知る。 2. 新規事業ビジネスプランや「チョイスゲーム」の導入により、グループ演習を通じて提案力、プレゼンテーション力、コミュニケーション能力を高める。 3. 職場や地域で活躍する上で必要となる社会人基礎力「考える力」「チームで働く力」「チームで踏み出す力」を身に付ける。		◎																		1	2	3	123	
総合科目	生活と倫理	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自律の力を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 授業で紹介された倫理的用語の基本的な意味を理解できる。 2. 身の回りの具体例を挙げながらそれを説明することができる。 3. 毎時間ごとに示されるキーワードをよりどころとして、自分は周囲の環境や人々そして自分自身をどのようにとらえているのかを再確認できる。		◎																		1	1	3	113	
総合科目	社会行動論	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】日本の財政問題の概要を把握する 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 世界と日本の時事的な問題の所在について理解を深めることができる。 2. 社会経済問題に関する幅広い社会常識を身に付けることができる。 3. 専門分野の研究をより広い視野と発想をもって進めることができる。 4. 財政に関して日本がどのような問題を抱えているのかについて理解を深めることができる。 5. 財政に関して欧米がどのような問題を抱えているのかについて理解を深めることができる。 6. 財政問題の解決に関して日本と各国政府の政策的な対応を具体的に説明できるようになる		◎																			1	2	3	123
総合科目	エンジニアリング・デザイン	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】多様な知識や見識とそれらを使いこなす素養を要し、俯瞰的な視点から社会的ニーズを正確に捉えることができ、技術を実践的・実用的かつ安全に扱える者の育成。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 社会からの厳しいニーズに対応できる論理的考察が可能な基礎的素養を獲得し、設計開発業務等において実践的かつ自立的・自律的に、社会で強く戦える技術者としての能力を培う。		◎																		1	2	3	123	
総合科目	インターンシップ研修	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】企業の現場において実習・研修的な就業体験を行うことによって、独創的な技術やノウハウ等に触れながら実務能力を高める。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 実習・研修的な就業体験により、技術者・職業人としての自覚を持ち、得られた知見を説明できる。		◎																		1	2	3	123	

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング							
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計				
総合科目	教養ゼミナール	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】少人数のクラスで異なる学年・学科の学生が交流しながら、主体的な学びを通して、各テーマに関する知識や技能を修得する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 各テーマに関する知識や技能を修得する。 2. 学年・学科を超えて協同して学び活動することができる。 3. 主体的に学修することができる。			◎													1	2	3	123	
総合科目	教養特殊講義C	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 【到達目標】 令和4年度不開講のためシラバスなし			◎													1	2	3	123	
総合科目	情報と職業	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】職業と情報の関わりを、職業世界の情報化の諸相とそれへの適応という側面から理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 情報社会における職業や労働のあり方について理解し、自らの職業選択に関連づける。 2. 情報社会における職業選択のあり方について具体例をあげて解説する。			◎													1	2	3	123	
総合科目	基礎ゼミ	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】B(100%) 新入生への導入教育として実施する。まず、自校学習、教育施設の利用セミナーや学科教育プログラム紹介などを通じて、大学でいかに学ぶかを考える。次に、少人数のゼミナールにて、大学で得られる知識や技術を自らのキャリアデザインにどのように生かすかを考え、調査と情報収集、教員とのディスカッションを通して内容をまとめ、レポート作成を行う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 大学4年間で学ぶ内容を理解し、自己の将来の目標を思考することができる。 2. 教育施設や設備を利用して、目的の情報の収集や調査をすることができる。 3. 教員とディスカッションして考えをまとめることができる。 4. 自らの考えをレポートにまとめることができる。			◎														1	1	3	113
総合科目	データリテラシー入門	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. DSやAIに関する現状を理解している。 2. DSやAIに関する基本的な概念や方法を理解している。 3. データの正しい利用方法について理解している。 4. スプレッドシートの基本的な機能を使ってデータを操作することができる			◎		◎											1	1	3	113	
総合科目	芸術論	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】西洋美術の歴史を通して芸術を学ぶと同時に、実際絵を描き美術館を訪れることで芸術的センスを磨く。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 西洋美術の歴史を概説し、芸術の歴史を理解できる。 2. 授業で出題されるスケッチを描くことで、表現を身につけることができる。 3. 実際に美術館を訪れることで、芸術的センスを磨くことができる。			◎														1	2	4	124
総合科目	工業デザイン	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】工業デザインの基礎を学び、工業製品や身の回りにあるものに対する理解を深める。あわせて、それを開発するときに留意する点を学び、開発力を高める。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. デザインの基本知識を習得し、説明することができる。 2. 種々の分野においてデザインされたモノの成り立ちを使用者側からの視点で学び、技術はデザインの発想に役立ち、デザインは新しい技術開発に資することを理解する			◎														1	2	4	124
総合科目	生涯スポーツ I	1～3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】チームスポーツの実践を通じて、生涯にわたる健康の保持増進に寄与する体力・技術および社会的スキルを養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. ソフトボールにおけるチームとしてのパフォーマンスに貢献できる。 2. ソフトボールにおける個人的な基礎的技術(審判含む)を実践することができる。 3. ソフトボールにおける基本的なルールを理解できる。			◎													1	1	4	114	
総合科目	生涯スポーツ II	1～3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】チームスポーツの実践を通じて、生涯にわたる健康の保持増進に寄与する体力・技術および社会的スキルを養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フットサルにおけるチームとしてのパフォーマンスに貢献できる。 2. フットサルにおける基礎的技術を実践することができる。 3. フットサルにおける基本的ルールを理解できる。			◎													1	1	4	114	

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング					
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計		
総合科目	スポーツ概論	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】健康・スポーツを科学的に理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. トレーニング・運動生理や健康に関する文献・諸理論を学ぶことにより、スポーツを体力科学的見地から理解することができる。 2. スポーツ文化の歴史・社会的領域に関する文献・諸理論を学ぶことにより、スポーツを人文・社会科学的見地から理解することができる。 3. 現代社会におけるスポーツの意味を理解し、人生における関わり方を考えることができる。		◎													1	1	4	114
総合科目	健康と安全	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】心身ともに健康的な生活を営み、豊かな社会の構築のために自らの専門とする知識・技能を活用する態度を身に付ける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 健康の概念を理解し、自らの生活習慣を見直すことをとおして、その保持・増進をはかる。 2. 安全・安心な生活を送るための危険予知、安全保持、危険対処の方法を日常行動の中に取り入れる。		◎													1	2	4	124
総合科目	メンタルヘルス	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】メンタルヘルスに関わる諸問題とその背景的要因、ならびにそれらへの対応について理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. メンタルヘルスに関わる諸問題とその背景的要因について概念的な説明する。 2. メンタルヘルスについて、基本的な予防と治療の方法について解説をする。		◎													1	2	4	124
総合科目	余暇論	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】余暇(レジャー)の本来の意味を学び、余暇の現状や諸問題を理解するとともに各自の余暇について考える。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 余暇(レジャー)の本来の意味や現代社会におけるレジャーの意義を理解できる。 2. 余暇(レジャー)に関連する事項や用語の意味を理解し説明できる。 2. 各自のレジャーの現状を分析するとともに、自分なりの将来計画を立案できる。		◎													1	2	4	124
総合科目	工学倫理	2～3年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】これから社会に出て活躍する諸君が、倫理的諸問題を認識・発見し、それを考察し、実践的に解決に導くための基礎を身に付けることを目的とする。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 一人の社会人として、技術者倫理に関わる諸問題を当事者意識をもって考察し、適切に解決に導くための基礎を備えることができる。 2. 技術者が社会からの信頼を得て、能力を行使するための、技術者・研究者の美的感覚、自立性・自律性、矜持を身につけることができる。		◎													1	2	5	125
総合科目	地球の科学	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】地球科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 ・地球科学に関する地学の一通りの知識を獲得できる。 ・地学用語の正しい理解と説明ができる。 ・地学の基本問題が正しく解け、説明できる。		◎													1	1	5	115
総合科目	宇宙の科学	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】宇宙科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 ・宇宙科学に関する地学の一通りの知識を獲得できる。 ・宇宙科学に関する地学用語の正しい理解と説明ができる。 ・宇宙科学に関する地学の基本問題が正しく解け、説明できる。		◎													1	1	5	115
総合科目	生命の科学	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】生物学の基礎を学び、身近な生命現象を理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 生物学の基礎を学ぶことで、身近な生命現象(からだの中で何が起きているのか、人はなぜ病気になるのか、最新の研究など)を知り、詳細に理解すること 2. 生物学の基礎を学ぶことで、身近な生命現象について自ら学び、強い興味、関心を持つ。		◎													1	1	5	115

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング							
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計				
総合科目	情報処理基礎	1年次	1単位	必修科目	【学習・教育目標】 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. コンピュータの構成などIT基礎知識と、インターネット、SNSのメリットデメリットを理解した上で、コンピュータの基本的な操作を習得し、適切に利用することができる。 2. 情報セキュリティ、個人情報や著作権の取扱いなどの情報倫理の重要性を理解し、情報活用における基本的なルールを守ることができる。 3. Microsoft Officeアプリケーション(Word・Excel・PowerPoint)の基本的な操作が修得でき、レポート作成、表作成における関数やグラフの活用、スライドによる資料作成を円滑に行うことができる。 4. Googleアプリ(ドキュメント・スライド・スプレッドシート)の基本的な操作が修得でき、Microsoft Officeアプリケーションとの連携を理解することで、様々な環境において最適なアプリケーションを選択して活用することができる。			◎												1	1	5	115		
総合科目	図学	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】「図面の見方、読み方、並びに作成」を重点的に学習し、製造業における「経営幹部、スタッフ」又は工業系の「教職員」にとって必須のスキルである「図面の解釈、作成」を習得する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 「中小企業診断士」の試験に係わる当該分野をクリアする。 2. 国家検定(厚労省)「製図技能士」に係わる当該分野をクリアする。			◎												1	1	5	115		
総合科目	物質の科学	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】物性物理を理解するためには、量子力学や熱統計力学の知見を必要とする。まずこの量子力学と熱統計物理学の基礎について学んだのち、物質の電氣的・磁氣的な基礎物性について学ぶ。またナノサイエンスに関する基礎についても学ぶ。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 量子力学の基礎を理解する 2. 熱力学・統計力学の基礎を理解する 3. 様々な物質が持つ特徴的な基礎物性について学び、それらの仕組みを理解する			◎												1	2	5	125		
総合科目	工学特講	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】異分野融合は、イノベーション創出の一つとされている。本講義では、異分野融合の一例として工学とバイオの融合分野に着目し、その学問や歴史、研究について学習する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異分野融合について、考える力を身につける。 2. 工学系分野の学生がバイオ分野にも興味・関心を持つ。			◎												1	2	5	125		
総合科目	情報と社会	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】情報通信技術の発展が社会生活にどのような変化をもたらしてきたかを理解し、今後の情報化社会において取り組むべき課題を提案することができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 情報と人間の関わりを事例を挙げながら解説する。 2. 社会生活における情報システムとネットワークの役割を具体例をあげて解説する。 3. 情報化社会における情報保護の意義と法的制度の役割を具体例をあげて解説する。			◎													1	2	5	125	
外国語科目	英語A I	1年次	1単位	必修科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 基礎的な語彙力を身に付ける。 2. 基礎的な文法力を身に付ける。 3. 継続的に自学自習する習慣を身に付ける																	1	1	6	116
外国語科目	英語A II	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。 【到達目標】 受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。 3. 基礎的な語彙力・文法力を身に付け、TOEICのPart 5 & 6 問題に対応できる。 4. 英語読解能力を身に付け、TOEICのPart 7 問題に対応できる。 5. 継続的に自学自習する習慣を身に付ける。 6. TOEIC300点を1つの指標とし、中級レベルの語彙が使用される文章において、文構造が理解でき、内容が推測できる。																	1	1	7	117
外国語科目	英語B I	1年次	1単位	必修科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICテストの問題形式に慣れ、的確に問題に対応できる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。																	1	1	6	116

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング					
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計		
外国語科目	英語B II	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。 3. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて、全体的なトピックが把握できる。 4. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて必要な情報を聞き取り、平易な質問に答えることができる。 5. 継続的に自学自習する習慣を身に付ける。 6. TOEIC300点を1つの指標とし、情報の繰り返しや言い換えが中級レベルの語彙で使用されるときに文脈が理解できる。															1	1	7	117
外国語科目	英語C I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICリスニングで、全体的なトピックが把握できる。 2. TOEICリスニングで必要な情報を聞き取り、質問に答えることができる。 3. TOEICで必要な語彙が理解できる。 4. 英語の文法を理解し、TOEICのPart 5&6の問題に対応できる。 5. 英語読解能力を身につけ、TOEICのPart7の問題に対応できる。 6. TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、400点(または500点)に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。															1	2	6	126
外国語科目	英語C II	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICリスニングで、全体的なトピックが把握できる。 2. TOEICリスニングで必要な情報を聞き取り、質問に答えることができる。 3. TOEICで必要な語彙が理解できる。 4. 英語の文法を理解し、TOEICのPart 5&6の問題に対応できる。 5. 英語読解能力を身につけ、TOEICのPart7の問題に対応できる。 6. TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、500点(または600点)に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。															1	2	7	127
外国語科目	英語D I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける 2. 基礎的な語彙力を身につける 3. 基礎的な文法力を身につける															1	2	6	126
外国語科目	英語D II	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける。 2. 基礎的な語彙力を身につける。 3. 基礎的な文法力を身につける。															1	2	7	127
外国語科目	英語応用 I	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】使用テキストの重要な目的でもある、「全体的なエッセイの構造を考えながら掴む」という読解の技能を育成すること。(エッセイにおけるそれぞれのパラグラフが持っている役割を明確に理解し、論理的に読み進んでいき、全体の内容理解を深める。) 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 必要に応じて辞書を引きながら、新聞記事、雑誌記事、勉学に必要な専門書が正確に理解できる程度の力が身につくこと。 2. TOEIC 500点に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。															1	3	6	136
外国語科目	英語応用 II	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】使用テキストの重要な目的でもある、「全体的なエッセイの構造を考えながら掴む」という読解の技能を育成すること。(エッセイにおけるそれぞれのパラグラフが持っている役割を明確に理解し、論理的に読み進んでいき、全体の内容理解を深める。) 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 必要に応じて辞書を引きながら、新聞記事、雑誌記事、勉学に必要な専門書が正確に理解できる程度の力が身につくこと。 2. TOEIC 500点に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。															1	3	7	137
外国語科目	英会話基礎 I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む実践的コミュニケーションのための英語会話能力を修得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを修得した上で、英語でスムーズに自己表現できる能力を修得する															1	2	6	126

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング					
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計		
外国語科目	英会話基礎Ⅱ	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む実践的コミュニケーションのための英語会話能力を修得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを修得した上で、英語でスムーズに自己表現できる能力を修得する					◎										1	2	7	127
外国語科目	英会話応用Ⅰ	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育てる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で修得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとどまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを修得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を修得できる。					◎										1	3	6	136
外国語科目	英会話応用Ⅱ	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育てる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で修得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとどまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを修得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を修得できる。					◎										1	3	7	137
外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】ドイツ語の初歩的なコミュニケーション能力、読解力を身につける。ドイツ語を通じて異文化に触れる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. ドイツ語を正しい発音で読める。 2. 基本的な文法規則が理解できる。 3. 初歩的な旅行会話や日常会話を表現できる。 4. 易しいドイツ語テキストを読むことができる。 5. 独語技能検定試験5級相当の力を身につける。					◎										1	1	6	116
外国語科目	ドイツ語Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】ドイツ語Ⅰに引き続き、ドイツ語の初歩的なコミュニケーション能力、読解力を身につける。ドイツ語を通じて異文化に触れる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. ドイツ語を正しい発音で読める。 2. 基本的な文法規則が理解できる。 3. 初歩的な旅行会話や日常会話を表現できる。 4. 易しいドイツ語テキストを読むことができる。 5. 独語技能検定試験5級・4級相当の力を身につける。					◎										1	1	7	117
外国語科目	フランス語Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】フランス語の初歩的なコミュニケーション能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の綴りの読み方の規則を身に付け、初歩の文法と表現を習得する。					◎										1	1	6	116
外国語科目	フランス語Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】フランス語の初歩的なコミュニケーション能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の綴りの読み方の規則を身に付け、初歩の文法と表現を習得する。					◎										1	1	7	117
外国語科目	中国語Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】中国文化の理解と基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. テキストの中国語文を正しい発音で読むことができる。 2. 中国語文の文法構造を説明できる。 3. 辞書の引き方、ローマ字による表記法が分かる。 4. 簡単なコミュニケーションを行う方法を修得する。					◎										1	1	6	116
外国語科目	中国語Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】中国文化の理解と基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. テキストの中国語文を正しい発音で読むことができる。 2. 中国語文の文法構造を説明できる。 3. 辞書の引き方、ローマ字による表記法が分かる。 4. 簡単なコミュニケーションを行う方法を修得する。					◎										1	1	7	117

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング											
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計								
外国語科目	海外語学研修	1～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】3～4週間の集中講義を受講することにより語学運用能力を向上させることができる。異文化体験を通して国際的感覚を身につけることができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化を理解した上で国際的感覚を身につける。 2. 日常生活および社会生活で通用し得る実践的な語学力を身につけ、コミュニケーションがとれるようになる。																1	1	8	118					
専門科目	微分積分学Ⅰ	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】微分における計算力の向上に重点を置く。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 積・商の微分公式を用いて導関数を求める。 2. 等関数の導関数を求める。 3. 導関数を用いてグラフの概形が分る。																		2	1	1	211			
専門科目	微分積分学Ⅱ	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】初等関数の不定積分・定積分を求める手法を修得する。また定積分の応用として、面積・体積を求めたり曲線の長さを求めることができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 初等関数の不定積分を求める。 2. 初等関数の定積分を求める。 3. 面積、体積、曲線の長さを求める。																			2	1	4	214		
専門科目	線形代数学Ⅰ	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】ベクトルや行列に関する演算を行うことができる。空間の直線・平面の方程式を求めることができる。さらに、行列式の定義を理解しその計算を行うことができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. ベクトルの基本的な計算ができる。 2. 空間の直線・平面の方程式を求めることができる。 3. 行列の基本的な計算ができる。 4. 行列式の計算ができる。																				2	1	1	211	
専門科目	線形代数学Ⅱ	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】消去法と呼ばれる行列の変形ができる。さらに消去法を利用して逆行列を求めることができる。また連立1次方程式を解くことができる。さらに行列の固有値や固有ベクトル求め、行列の対角化ができるようになる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 行列の階数を求めることができる。 2. 消去法で連立1次方程式を解くことができる。 3. 固有値・固有ベクトルを求めることができる。 4. 行列の対角化ができる。																					2	1	4	214
専門科目	データサイエンス基礎	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】今日、データは最も価値のある資源であるとも言われ、データサイエンスとは、統計学、機械学習、コンピュータ技術などを駆使して、データを有効に活用する技術である。本講義ではデータサイエンスの基礎事項について学ぶ。 【到達目標】以下の個々の内容について、関連付けながら説明できる。 1. データサイエンス 2. アルゴリズム 3. 最適化 4. 機械学習 5. ディープラーニング																					3	2	2	322
専門科目	基礎統計学	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】得られたデータを整理・集約し、そのデータが表す集団の性質をできるだけ簡潔に、また明確に記述表現することを目的とする記述統計学について論じる。さらに推測統計学の基礎についても論じる。 【到達目標】測定と尺度(名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度)、度数分布とヒストグラム、代表値と散布度、連関と相関係数、確率分布(二項分布、正規分布、単位正規分布)、標本分布について理解する。																					2	1	1	211

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング																						
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計																			
専門科目	データマイニング	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 データ間の複雑な関係や規則性を発見し、その知識を共有可能な形式に表現するための方法について講義するとともに、自らデータ分析を行うことにより知識の発見方法を学び、得られた情報を社会的に有効に活用する技術を修得することを目的とする。 【到達目標】 1. 知識発見およびデータマイニングの概念と原理について深く理解している。 2. 主要な技法を具体的なデータに対して応用し、その結果を解釈できる。								◎								4	3	2	432																
専門科目	オペレーションズ・リサーチ	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 オペレーションズ・リサーチの理論と実際の情報システムへの適用法について演習問題を用いて詳細に解説する。 【到達目標】 1. スケジューリング(日程計画)問題を解くためのPERT手法が理解できる。 2. 線形計画問題をシンプレックス法で解くことができる。 3. シミュレーション技法が理解できる。 4. 階層型意思決定法(AHP)の考え方を説明できる。									◎										3	2	4	324													
専門科目	シミュレーション科学	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 広くさまざまな分野で開発が進んでいるシミュレーションシステムに関連する技術の基礎と対象領域のモデル化の方法を理解することを目的とし、数値計算手法について説明し演習を行う。また具体的な企業活動のモデル化とそのシミュレーション実験を行い、企業活動の理解を進める。 【到達目標】 社会的・経済的な現象の解析や企業における意思決定や活動計画策定において必須のシミュレーション技術について理解をする。 1. シミュレーション技術の活用方法の基礎を理解できる。 2. 計算精度の重要性と計算方法による計算速度の違いを理解できる。 3. 乱数を活用してシミュレーションを実行できる。 4. 具体的な問題をモデル化し、各種の制約条件を考慮して解決方法を評価するためのシミュレーション技法を理解できる。										◎		○										4	3	2	432										
専門科目	情報システム工学概論	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】 社会基盤として機能する情報システムの本質について理解を深めることにより、情報システムに関わる技術者への社会からの要求や社会的責任を理解する。 【到達目標】 以下の項目について理解する。 1. 情報と情報システムの定義 2. 情報システムにおける情報技術の役割 3. 情報システムと社会活動との関係 4. 情報システムの開発、運用および管理手法 5. 社会における情報システムの役割 6. 情報技術者の社会的責任																							◎					2	1	1	211				
専門科目	情報システム開発法	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 企業などに於いてどのように情報システムを設計・開発すれば活用されるシステムが構築されるかについて、事例を取り入れ学修する。また、情報システムを開発する場合に必要な設計方法論、開発方法論などを習得する。 【到達目標】 以下の項目が理解できるようになる。 1. 情報システム設計の手順 2. 情報システム開発手法 3. モジュール設計手法																									◎						3	2	4	324	
専門科目	情報システムの設計と運営	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 企業などにおいて、企業の戦略に基づいて情報システムを企画・設計する方法論を学習する。情報システムを構築する場合に必要な手順、発想、狙い、設計方法論、評価方法など関連知識の習得と学んだ知識をベースにして、実践的に情報を使った経営の高度化の実現に必要な情報戦略構築力と情報システム企画力を養う。 【到達目標】 以下の項目が理解できるようになる。 1. 経営戦略と情報システム 2. 経営戦略分析手法 3. 情報システム開発プロジェクト管理の重点																									◎							4	3	2	432

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2		3			4						ナンバリング							
							1)	2)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	百の位	十の位	一の位	合計				
専門科目	マーケティング	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 マーケティングに関する基礎知識を解説し、いくつかの事例を取り上げ、「マーケティング・ミックス」の視点から分析する能力を身につけることを目標とする。 【到達目標】 マーケティングに関する基礎知識を身につけて、昨今のヒット商品について「マーケティング・ミックス」の視点から分析できるようになる。			◎											4	3	2	432			
専門科目	プロジェクトマネジメント	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 基礎としてのプロジェクトマネジメントの共通用語や概念を学びながら、グループによるグループワークやプレゼンテーションに加え、プロジェクトマネジメントの知識をより実践的なものとするため実例からのケーススタディの学習する。 【到達目標】 受講者はこの授業を履修することによって、 1. プロジェクトマネジメントの体系を理解し、 2. プロジェクトマネジメントに含まれる活動を一通り実践し体系理解を深め、 3. プロジェクトマネジメントで定義された様式で学習成果を成果物として文書化することができるようになります。														4	3	4	434			
専門科目	ビジネスプロセスモデリング	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 ビジネスプロセスを理解するための知識と共に、UMLによるモデリングの技法を解説する。さらに、演習問題によりビジネスプロセスモデリングを技能も身に付ける。 【到達目標】 ビジネスプロセスモデリングに関連する以下の項目について理解する。 1. 企業における情報システムのモデル(概念, 種類, モデル化の要件) 2. ビジネスモデル 3. ビジネスプロセス 4. UML(概念, 記述方法)															4	3	2	432		
専門科目	ERPシステム実習 I	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 SAP社のE-learningシステムを利用し、ERPシステムの本質を明らかにし、最新の企業情報システムについての知識と利用技術を解説する。 【到達目標】 ERPシステムに関連する以下の項目について理解する。 1. ERPシステムの構成 2. ERPシステムの機能 3. ERPシステムを利用に必要な技術 4. 企業の基幹業務(生産, 在庫管理, 販売, 調達)とその連携															4	3	2	432		
専門科目	ERPシステム実習 II	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 SAP社のE-learningシステムを利用し、ERPシステムの本質を明らかにし、最新の企業情報システムについての知識と利用技術を解説する。 【到達目標】 ERPシステムに関連する以下の項目について理解する。 1. ERPシステムの構成 2. ERPシステムの機能 3. ERPシステムを利用に必要な技術 4. 企業の基幹業務(人事, 会計, 経営戦略, データ分析)とその連携															4	3	4	434		
専門科目	情報システム管理	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 情報システム運用における危機管理について理解し、情報システムを安全かつ戦略的に活用するための知識と手法を習得する。 【到達目標】 1. 企業倫理、コンプライアンス経営、コーポレートガバナンス、内部統制、リスク管理の基本を理解することができる。 2. 企業における知財の取り扱いの基本を理解することができる。 3. 事業の継続性に関する基本を理解することができる。			◎												4	3	4	434		
専門科目	マルチメディア概論	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】 マルチメディアに関する基礎知識および基礎技術について解説するとともに、マルチメディアの活用方法やビジネスへの展開について説明する。 【到達目標】 1. マルチメディアの概念を理解する。 2. マルチメディアに関する基礎知識および基礎技術を修得する。 3. マルチメディアの有効な利用方法を理解する。 4. マルチメディアとビジネスの関係を理解する。																◎	2	1	1	211

